

板倉町との合併と

まちづくりについて

篠木 正明 議員

質問 市町村合併は目的でなく、まちづくりの手段です。館林市と板倉町がお互いに発展していくためにはどうしていくべきか、そのために合併が最善の方法なのかの議論が重要だと思えます。合併協議会で、この議論がされていませんが、どう考えていますか。

答 合併協議会は合併ありきを前提としたものでなく、合併をした場合にどのような自治体にしていくのか、税金や住民サービスをどのようにしていくのかを協議する場だと認識しています。今後、もっと核心に触れた内容の協議が進んでいくものと思っています。

命の重さと行政責任について

吉野 高史 議員

質問 学校施設や公共施設における耐震化対策、アスベストの取り扱い等により命にかかわる危険性、いじめによる自殺や殺人事件による命の大切さについて、以前の教育長答弁にも、そのたびごとに、早急に行政一丸となって真摯に取り組み、早期の解決につなげた

いとありました。また、特に命にかかわる問題には、そうしたことを基本に徹底した情報公開に努めたいと答弁したにもかかわらず、今回の市内中学校での部活動中の事故について、1か月半以上もたってからの情報公開となったが、こうして公表が遅れた原因はど

質問 両市町の今後のあり方などを初めに協議すべきなのに、それが後回しになっていると思います。

次に、合併協議を進めるに当たって、市民の意見をどのように反映させるのか、お尋ねします。

答 協議会開催のたびに「協議会だより」を每户配布します。ホームページで会議の結果だけでなく、会議の資料や会議録も掲載し、メールで意見、問い合わせも受け付けます。また、住民説

こにどういう責任があるのでしょうか。

時間の経過とともに刻々と状況も変化しているわけであり、状況の変化を敏感に察知し、その変化に応じて情報を開示していくことは当然であり、情報公開の時期を逸したと言わざるを得ないと考えております。

こうした状況を教育委員会とはつかんで、どうして命にかかわる情報公開が遅れたのか。過去の答弁と余りに違いすぎるその答弁の責

明会を開催し、必要な修正を行いたいと考えています。

質問 市町村合併は自治体の形を変える大きなことですから、合併するかどうかは住民投票を行って決めるべきだと思いますが、そのような考えはないのですか。

答 合併の協議が進む中で、必要に応じて合併協議会での判断に委ねていきたいと考えています。

質問 合併協議会で、どういうまちを目指すのかを議論すべきですが、そうなっ

任をどのように説明するのか、お伺いします。

答 今回の件で多くの皆様に多大なご心配をおかけし、大変申し訳なく思っています。また、子どもたちの命や健康にかかわることは、すぐに公表できる体制を整えていきたいと答弁しましたが、今回の重大な事故が起きたことに伴い、本来であれば議員のご指摘のとおり速やかに情報を公開する必要があったかもしれませんが、しかし、本件にお

ていない現状があります。市長は、将来のまちづくりと板倉町との合併についてどのように考えていますか。

答 少子高齢化に伴う人口減少が急速に進む中で、いわゆる地方創生が求められています。館林市と板倉町が持つ特性や地域資源を引き出し合い、合併のスケールメリットを最大限に生かしながら、市民生活の向上や地域経済の発展など、新たなまちづくりを進めていきたいと考えています。

いては、まずけがをした生徒の病状をしっかり見守りたいと思っておりましたが、2週間ほどたつても余り回復の兆しが見られなかったため、6月16日の総務文教常任委員会で報告いたしました。また、関係者の心情等にも配慮して公表を控えておりましたが、結果的に公表するタイミングが遅れてしまい、過去の議員の一般質問における答弁内容との整合性という点で申し訳なく思っています。